



森本 貴之 議員

# 事業見直しなど検討は

町長

各課に検討させている



住民福祉の増進になる財政運営を

【森本】事業見直しに当たっては、職員数ありきではなく、人件費総額や委託料なども考えていくべきではないか。

【町長】そう考えている。職員数を減らしても外注や臨時職員が増える。これでは行財政改革にはならない。

【森本】小学校建設基金の背景と今後の活用は。

【町長】旧町からの積み残しで、整理する必要がある。

【森本】合併振興基金の活用を考えるべきでは。

【町長】近年あまり使っていない。有効活用をしていきたい。

【森本】会計年度任用職員制度導入の影響は。

【町長】臨時・嘱託職員がそのまま移行した場合、フルタイム会計年度任用職員は退職手当の対象になり、昇給もある。令和2年度は6700万円増となる見込みだ。

【森本】30年度決算で委託料は4.5%増となっている。事業見直しなど検討は。

【町長】財政担当と各課に委託料が経費削減になっているのか検討させている。

# 教育において 課題となるものは

教育長

自主的に課題にかかわる力の育成

【森本】地域の魅力を生かした、ふるさと教育が進められている。これからの教育において課題となるものは。

【教育長】与えられた課題に取り組むだけでなく、自分で何ができるのか考え、自主的に課題にかかわる力を育成すること。

【森本】バリアフリー対策の現状は。

【教育長】安全かつ円滑に施設利用できるようスロープ設置など対策をしている、すべてがバリアフリー化されていない。修繕など行いたい。

【森本】通学路における危険箇所の把握は。

【教育長】毎年通学路



地域で育むふるさと愛

の確認をしている。危険箇所は学校、教育委員会、町長部局、警察、場合によっては県土整備局などと連携をはかり対応している。

【森本】避難所となる学校施設の受け入れ機能、防災教育などの取り組みは。

【町長】町職員が避難所運営にかかわる。運用、運営方法などさらに学校関係者、地域と協議する必要がある。